

ゴールデンウィークも終わり

始業式・入学式から慌ただしい日々を送り、気がつけばゴールデンウィークでした。せっかくできた学習のリズムを取り戻すことはできたでしょうか。

総合ビジネス科では、資格を取得できることがメリットの一つとなっていますが、資格取得は、1年の秋から3年の夏までに計画的に取り組むべきだと考えています。もちろん資格は生涯にわたって財産となるので、卒業まではとれる資格には積極的にチャレンジしてもらいたいのですが、進学や就職に関する書類作成は、夏休み以降に始まります。従って3年の7月が一つの節目になるのです。

今回6月に全商検定が予定され、簿記検定（6月22日12名受検）、ビジネス文書実務検定（6月29日21名受検）に申込みがありました。合格するための支援は、放課後などを利用し計画していきますが、一番重要なのは生徒本人のモチベーションです。自分の得手不得手の部分を分析し、70点以上とるためにはどのように学習すれば良いのかを明確にして取り組むことができれば、結果は自ずとついてきます。またビジネス文書の速度対策としては、毎日10分、文書を打ち込むことが有効なので、昼休みや放課後を利用し情報室でキーボードをたたいてほしいと思います。

5月後半は、高体連の大会があり、時間割の変更もあります。特に大会に参加する生徒は大会でベストを尽くすためにも、計画的に学習に取り組んでください。

6月の日程

- 4日（水）～6日（金） 前期中間考査
- 12日（木）～13日（金） 全道ワープロ大会
- 22日（日）全商簿記検定試験
- 29日（日）全商ビジネス文書実務検定試験

6月12日・13日 全道ワープロ大会

札幌において「第70回北海道高等学校ワープロ競技大会」が、上記の日程で開催されます。

本校からも、3年折戸君、千葉君、安田さん、2年山鹿さんが出場します。

これ以外にも、商業クラブ、簿記、情報処理、ビジネス計算、英語スピーチの競技大会が開催されていますので、次年度はより多くの大会に出場できるように、生徒の皆さんが研鑽することを期待しています。



「Teaching」と「Coaching」

大嶋 武史

教師のことを英語で「Teacher」といいます。教える人という意味になります。したがって生徒の皆さんは「教わる人」ということになります。しかし「教育」は「教＋育」という二つの漢字でできています。「育」とはどのような意味でしょうか。

学校教育では、「育」は生徒の「学ぶ喜び」「考える喜び」「興味・関心・意欲」を引き出し、「教」の効果を高めることが期待され「Coaching」と訳されます。スポーツの世界ではよく聞く言葉です。主体となるのは選手ですが、その選手が活躍できるように指導や支援を行うのがコーチです。15年ほど前の研究会で、これからの教育には「育」をメインとする授業が求められることを学びました。

理由は社会のグローバル化とICTの発達により、我々を取り巻く環境が複雑化・高速化し、価値が多様化していったことによります。以前は一つの価値が永久に続くように思われましたが、現在は価値が激しく変化し、時には複数の価値が存在する社会になっています。32年前に教員になった際、大学で学んだコンピュータ言語「コボル」を生徒に教えました。現在は毎年新しいコンピュータ言語が誕生し、10年ごとには主流となる言語が変わり、コボルは忘れられた言語になってしまいました。

授業を行っていていつも思うのです。今教えていることは、いつまで活用できるかと。「簿記」でも勘定科目が変わったり、新しい勘定科目が使われるようになっていきます。「小切手」や「手形」という言葉も、法律が変わり、もうすぐ教科書から消えるでしょう。

今後ビジネスを学ぶ皆さんが身につけるべき学力は、情報にあふれる社会において、正確な情報、必要な情報を選択し、それらの情報を分析し、よりよい答えを導き出す力だと私は考えています。

私の授業では、黒板に書くことよりも、生徒と話をすることに重点を置いています。説明をしても、話を聞かず黒板をノートに書き写すことに集中している姿を多く目にしたからです。重要なのは、説明の中から何が重要なかを判断しメモを取り、そして自分自身で考え、答えをクリエイトすることなのです。答えは無限にあります。教えられた一つの答えに固執することを社会は求めなくなっているのです。その時その時その場その場で、よりよい答えを導き出す力を是非身につけてほしいと考えています。

ある対談の記事を読んでなるほどと思ったことがありました。「氷が溶けたら何になる」。ほとんどの人が「水になる」と答えるでしょう。でも「春になる」という答えはどうでしょうか。考えるアプローチが違いますが、どちらも正しい答えです。皆さんには「水になる」という答えを出した後、他の答えはないかと考えることができる人になって欲しいと思います。

